～欣浄寺法語メール～２０１８年３月～

「こころはどこに？」

　ある研修会で講師が突然「みなさん、こころはどこにあると思いますか？」との問いかけ。頭の方を指さす者、心臓あたりに手を当てる者など戸惑いがひろがりました。そんな中でただ一人が「人と人の間」と応じ、全員がその名答にうなずいたことです。指揮者フルトヴェングラーは「感動とは人間の中にではなく、人と人の間にあるものだ」と語りました。ホールの中でただ一人客席に背をむけながら、楽団が紡ぎ出す音色が聴く者たちの心を揺さぶる瞬間を、背に受けとめていたのでしょう。音楽は楽譜の中や演奏者の手元にあるのではなく、聴く者との間にあって初めてその真価が発揮されるのです。

　先輩住職から「お経があるからといってそれが伝わっているとは言えない。それを手に取り開かれてこそ伝わったといえる」と教えられました。仏さまはどこにみえますかと尋ねられれば、多くの方は「お寺やお仏壇の奥深く・・・」と答えられるでしょう。童謡「春が来た」では「春が来た　春が来た　どこに来た　山に・・里に・・野にも来た」と遠くから次第にちかづくさまがうたわれます。

　仏さまがちかづき、私に届いたことを親鸞聖人は「（アミダ）如来よりたまわりたる信心」とお示しくださいました。仏さまと私の「間」にある「こころ」が浄土真宗の信心なのです。

・・・欣浄寺行事のご案内・・・

親鸞聖人７５０回大遠忌法要（※お稚児さん）

11 月 4 日（日）